

令和元年度事業報告

I 概要

全国的に高齢化が進む一方で、社会を支える現役世代が減少しています。このような社会においては、高齢者が社会を支える一員として活躍し続ける「生涯現役社会」を実現することが求められています。

シルバー人材センターは、各地域の実情に合った就業機会を提供し、高齢者の「居場所」と「出番」をつくり、「生涯現役社会」の実現に向けた役割を果たしており、併せて、高齢者の充実した生きがいと社会参加の促進を図り、地域社会の活性化と社会保障費の削減に寄与しています。

しかし、シルバー人材センターを取り巻く情勢は、定年延長・廃止や継続雇用制度導入等の影響により、会員の確保・拡大は厳しい状況となっています。

本センターでは、「会員の自主・自立、共働・共助」の基本理念のもと、公平な就業機会の提供と安全・適正就業を第一として事業の推進を図るとともに、新たにシルバー事業の説明機会を設け、会員の確保・拡大に努めました。

新規入会会員については、会員の方々の口コミにより一定数の確保ができ、全体の会員数は微増となりました。また、本年度は一般家庭による受注が増加したため、契約金額は昨年度を上回りました。

引き続き、就業機会の確保や拡大のために介護予防・日常生活支援総合整備事業及び福祉・家事援助サービス事業について、行政等の関係機関と協議を行いながら女性部会を中心に研修会に参加しました。

安全・適正就業委員会では、「安全は全てに優先する」をモットーに安全パトロールの実施、チェーンソー・草刈機取扱講習会の開催などを通じ、会員の方々に安全就業の周知と技能向上を図り、業務部会において日常に役立つ基本的なマナーの習得向上や発注者とのトラブル防止のため、接遇講習会を開催しました。

普及啓発事業の取り組みとして、地元市町全世帯へのシルバーチラシの配布、奉仕作業の実施や地域のボランティア活動及び空き缶・空きびん回収キャンペーン等に参加しました。

今年度も公益社団法人として法令遵守に努めると共に、健全財政運営を念頭に事業運営を行いました。今後も公益社団法人として、地域住民の方々に信頼され、期待され、愛されるセンターとして運営していく所存であります。

以下、令和元年度の主な事業について報告します。

II 事業の実施及び結果

一 雇用によらない臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務に係る就業機会の確保・提供事業、社会参加のための支援（公益目的事業）

1 就業開拓提供事業

(1) 受託事業（一般）

安全・適正就業を基本に会員の希望や能力など高齢者に適した就業機会の提供を行いました。また、ローテーション及びグループ就業を推奨し、公平な就業機会の提供や会員間の連携強化に配慮しました。

① 令和元年度実績

就業実人員	就業延人員	就業率	契約金額
527人	55,511人日	91.6%	299,624千円

② 主な職群別就業分野

【事務整理】

年賀はがきなどの宛名書きを実施しました。

【管 理】

庁舎管理、学校管理、駐車場管理、民間の施設管理などを実施しました。

【技 能】

家庭、民間事業所、公共機関から依頼された植木の剪定、左官工事などの営繕作業、障子張り替え等を実施しました。

【軽 作 業】

屋内外の清掃、公園、庭等の除草や草刈り、植木の消毒、農作業関連の仕事を実施しました。

【サービス】

高齢者世帯の掃除、片付けなどの家事援助サービスを実施しました。

(2) 受託事業（業務委託）

前年度に引き続き、広川町指定管理者業務を受託しました。

① 令和元年度実績

就業実人員	就業延人員	契約金額
49人	1,353人日	11,987千円

② 主な就業分野

竜光寺公園、善蔵塚古墳公園、広川町運動公園、湯納楚山公園、岩山公園の管理運営業務に従事しました。

二 雇用による臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務に係る就業機会の確保・提供事業（公益目的事業）

1 職業紹介事業

就業を希望する高齢者に就職を斡旋する窓口を設けました。

2 労働者派遣事業

福岡県シルバー人材センター連合会が派遣元となり、指揮命令や従業員との混在等が伴う業務について、実施しました。

① 令和元年度実績

就業実人員	就業延人員	賃金
14人	1,028人日	6,462千円

② 主な就業分野

小中学校用務、事業所の調理補助

三 高齢者の就業機会の確保や社会参加活動を発展・拡充するための普及啓発、情報提供、研修、講習、相談・助言、調査研究等（公益目的事業）

1 普及啓発事業

(1) 広報活動

- ① 会員拡大及び就業拡大のため、管内全世帯にチラシを配布するとともに、八女市・広川町広報紙への掲載依頼を行いました。
- ② タウン誌やFM八女等を活用し、会員募集及び就業拡大を図りました。
- ③ 発注者へのアンケートの実施や安全適正就業のチラシを配布し、啓発を図りました。
- ④ 諸行事参加や活動の折、普及啓発ジャンパーを着用し、PRに努めました。

(2) 社会参加活動

- ① 本所、各出張所管内で公共施設周辺、公園等の草刈り、清掃や除草などの奉仕作業を行いました。
- ② 八女市環境衛生協議会主催の空き缶・空きびん回収キャンペーンに参加しました。
- ③ 八女市、広川町の各地域で行われているボランティア活動に参加しました。

(3) 地域交流活動

広川町民体育大会をはじめ、各地域で行われているイベントや祭り、行事などに参加し、地域との交流を図るとともにPRに努めました。

- (4) 女性部会（コスモス会）の活動
料理講座、ハーバリウム講座及び健康体操教室を開催し、会員間の親睦・交流及び健康増進を図るとともに、新規入会者の加入促進を図りました。

2 安全・適正就業推進事業

(1) 安全就業対策

- ① 受注時に安全面等、高齢者の就業に相応しい仕事であるかなどの検証を行い、事前対応を図りました。
- ② 「安全は全てに優先する」をモットーに、朝礼時に安全十訓の唱和を行いました。
- ③ 作業別安全基準により、周知を図りました。
- ④ 安全パトロールを実施し、作業現場での安全就業の啓発を図りました。
- ⑤ 交通安全講習会を開催し、就業途上等での事故防止に努めました。
- ⑥ 新規入会会員説明会で安全・適正就業についての周知徹底を図りました。
- ⑦ 理事会において随時、事故報告を行い、原因と再発防止策を講じました。
- ⑧ 随時、各出張所へ情報提供と安全就業対策徹底の呼びかけを行うとともに、各地域合同班会議において、安全標語の唱和を行いました。
- ⑨ 機械取扱講習会で、機械器具の点検、正しい使用法など事故防止に努めました。

(2) 適正就業対策の徹底

- ① 受注時に指揮命令、従業員との混在作業の有無などの確認を行い、対応しました。
- ② 新規入会会員説明会、地域班合同会議において周知を図りました。
- ③ 会員によりチラシの配布を行い、発注者への周知に努めました。
- ④ 随時各出張所へ情報提供と適正就業対策の徹底の呼びかけを行いました。

3 相談事業

(1) 就業相談の実施

正会員及び地域の高齢者を対象に、随時、窓口や電話等により就業相談を行いました。

(2) 入会説明会の開催

入会される方の利便性を図るため、各所で随時説明を行うとともに、

DVDを活用し説明の充実を図りました。

4 研修・講習事業

- (1) 植木や果樹の剪定講習会を開催し、技能習得と安全作業の意識向上を図るとともに受注者の満足度を高めることに寄与しました。
- (2) 交通安全講習会を開催し、高齢者の交通事故防止に努めました。
- (3) チェーンソー及び草刈機取扱講習会を開催し、作業効率、正しく安全な使用方法や技能の向上を図りました。
- (4) 接遇講習会では、基本的なマナーを学び、発注者とのトラブル防止、会員間の日常生活における連携強化をめざしました。

5 組織の活性化と運営体制・財政基盤の強化

- (1) 理事会、専門部会及び各委員会等
 - ① 筑後ブロック担当職員研修会に参加し、近隣センターと情報の共有を図りました。
 - ② 普及啓発部会で「シルバーチラシ」や「事務局だより」を発行し、会員に親しまれる、身近なセンターづくりをめざしました。
- (2) 地域班
 - ① 班長会議では、合同班会議の目的と進め方、課題などの事前打ち合わせを行い、効率的で円滑な合同班会議運営に努めました。
 - ② 地域班合同会議では、安全就業の徹底や健康管理についての自覚を促しました。
- (3) 事務局体制の強化
 - ① 本所・各出張所間の業務相互支援体制を推進し、組織の内部強化を図りました。
 - ② 各研修会へ各所毎の担当職員が参加し、資質の向上を図りました。
 - ③ 随時、職員会議を開催し、情報の交換と共有による意思の疎通を図りました。
- (4) 安定した財政基盤の推進
 - ① 国から前年度以上の補助を受けるとともに、八女市、広川町から前年度と同額の補助を受けました。
 - ② 節電・節水やごみの分別を徹底し、光熱水費、消耗品費などの経費削減に努めました。
 - ③ 公用車利用による旅費軽減を図りました。